

土のう人形のつくりかた

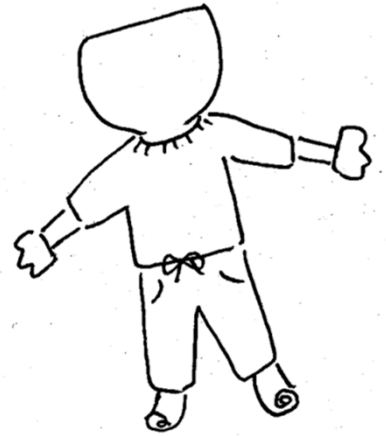
1 完成図

身長：約110cm～約150cmまで調整可能

体重：約3kg～約35kgまで調整可能

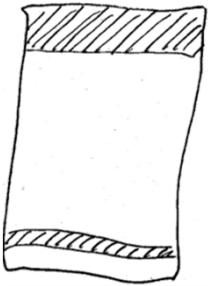
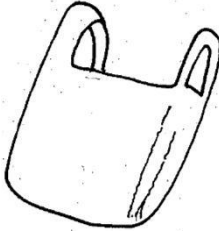
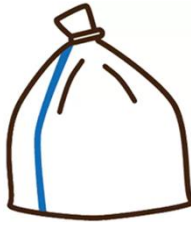
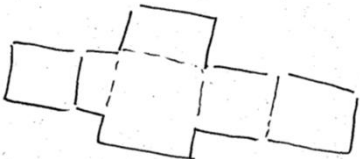
作成所要時間：約1時間

作成所要人員(推奨)：最低2名

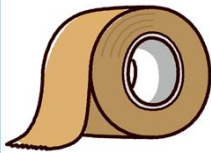
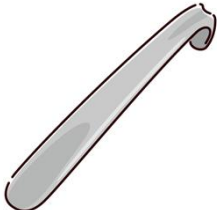


2 準備物品

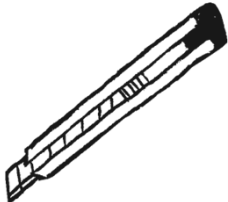
■必要な材料

	タオルケット 2枚		軍手 2枚
	大判のバスタオル 3枚		買い物用ビニール袋 (大サイズ) 1個
	ジャケット用ハンガー (型崩れ防止用の厚み のあるものが良い) 1個		土のう 設定したい重さの量を 準備 35キロくらいまでに 収める
	段ボール箱 2個		ジャージ上下もしくは Tシャツとジャージパ ンツ 各1着

■準備できるとよいもの

	荷造りひも		ガムテープ
	くつべら (分厚いもの)		靴下 2枚

■作成に使用するもの

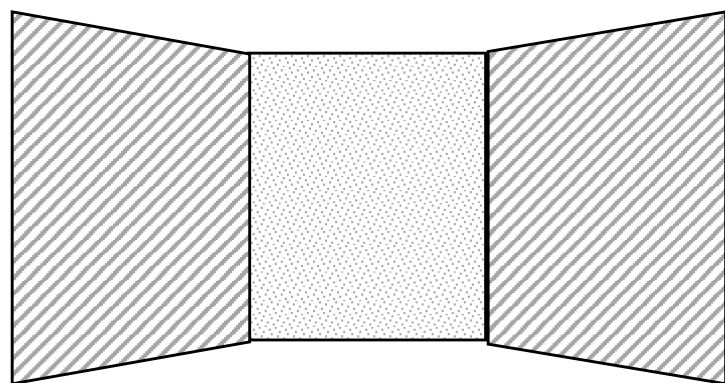
	ハサミ		穴あけピック 荷造りひもを使用する場合のみ必要
	カッター		車いす(担架でも可) 車いす等は完成後の本体の移動に使用。 10kgを超える場合に準備することを推奨。

3 作り方

(1) 胴体枠組みを作る

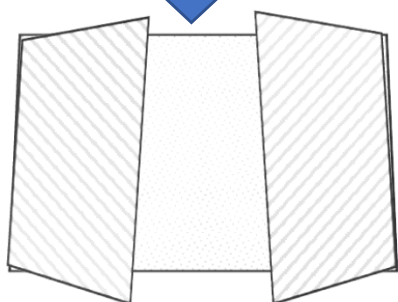
- ・段ボールを切り出し胸郭と脊柱を作る。

【胸郭】

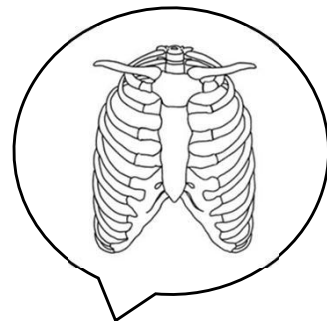


▨部は外側から内側に向けて丸めて、丸め癖をつけておく

外 → 内 ← 外



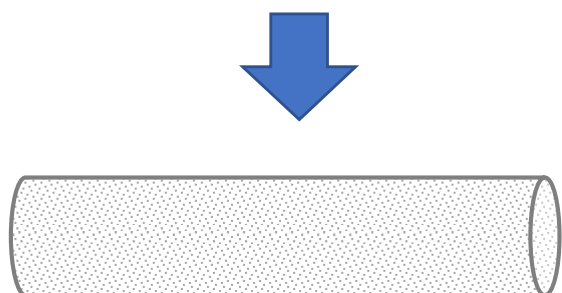
内側に折り返して胸郭のような形に整える



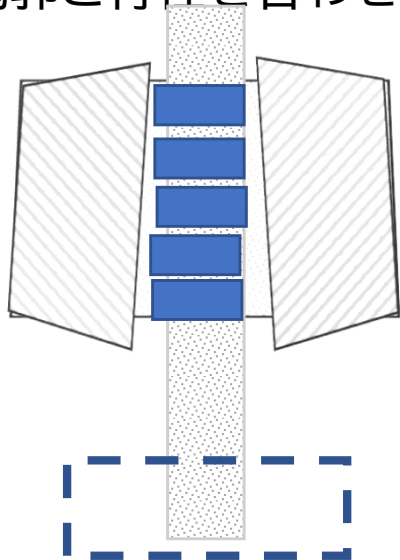
【脊柱】



段ボールは細長く丸めて、押しつぶして平たくする。



・胸郭と脊柱を合わせる

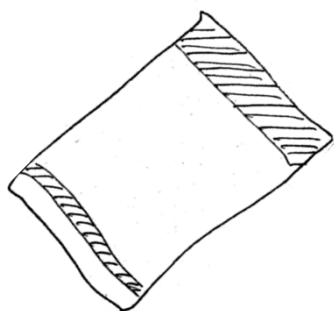


左図の様に胸郭の上に脊柱を置き、テープで補強する。
このとき脊柱の上部はiPhone一つ分ほど胸郭から飛び出すようにする。

- ・ 胸郭、脊柱に穴をあけ荷造りひもなどで固定してからテープで補強すると良い
- ・ 余り部材があれば破線部に骨盤パーツを付け足すと強度up！
10kg超の土嚢使用時は骨盤パーツがあるほうが良い

(2)体幹、四肢を作る

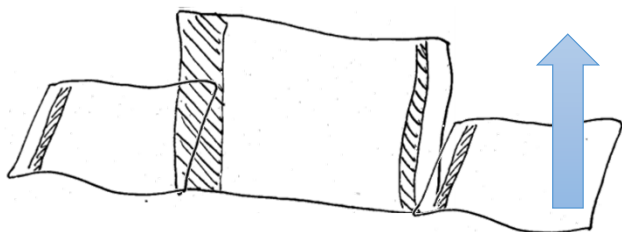
【上肢】



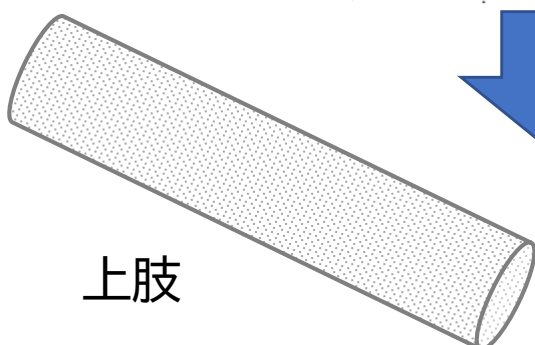
1本のタオルケットを長ぼそくなるように、端から丸める

【体幹・下肢】

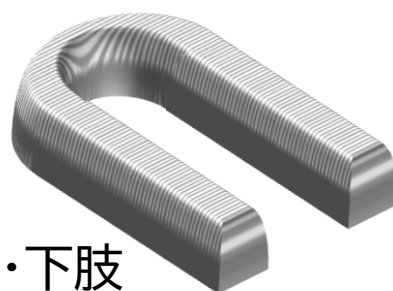
1本のタオルケットとその両端に、少し重なるようにバスタオルを置き、まとめて長ぼそくなるように、端から丸める。
丸まったら、U字に成形する。



タオルの重なりがあるほうから、無い方に丸める

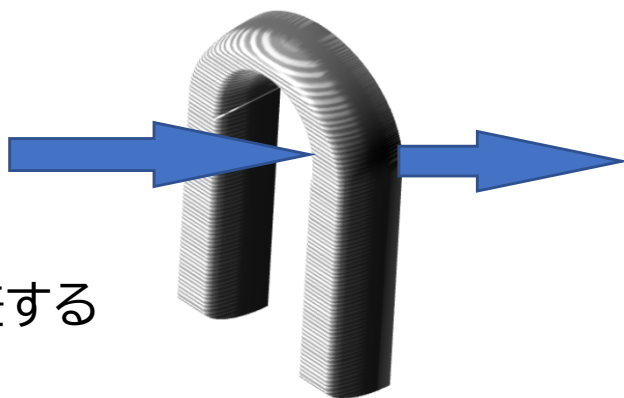


上肢



体幹・下肢

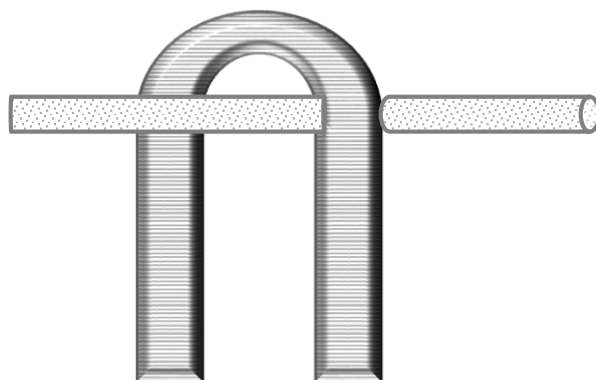
【上肢・体幹と下肢の組み立て】



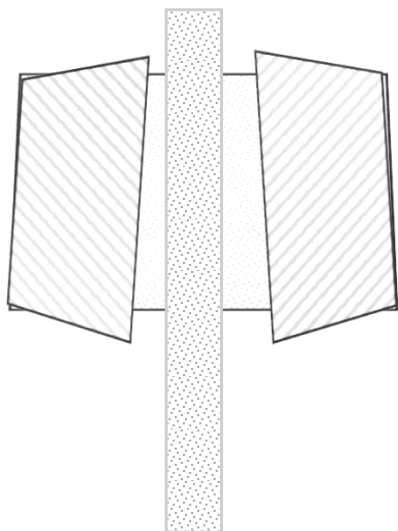
体幹と下肢(U字物体)に交差するよう、上肢を通す。



左図のようになればOK！



(3) 身体の組み立て



胸郭・脊柱



土嚢

と

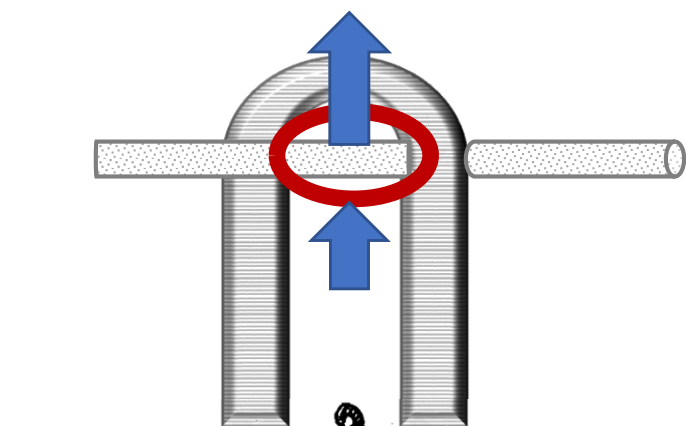


ハンガー

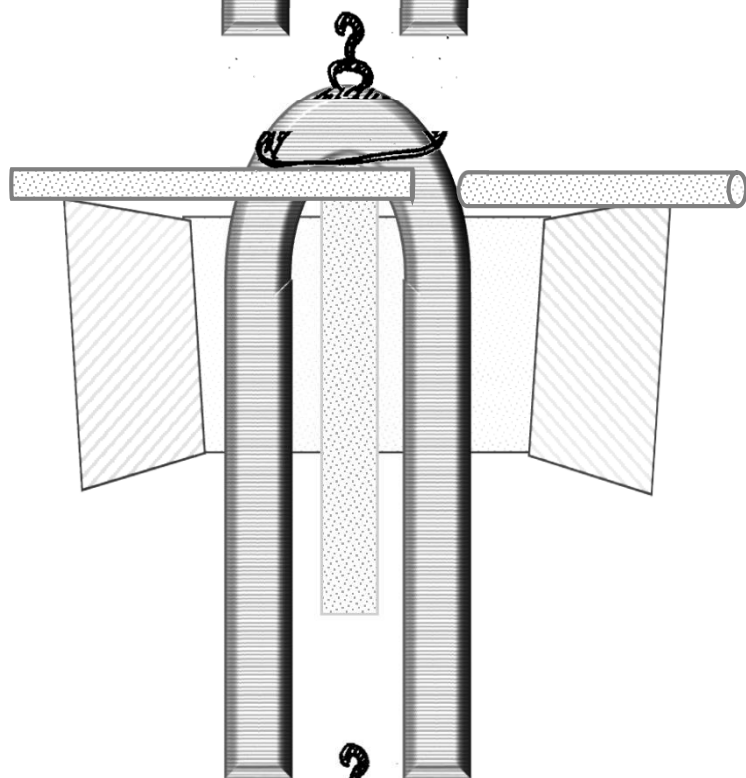
と

上肢、体幹・下肢、

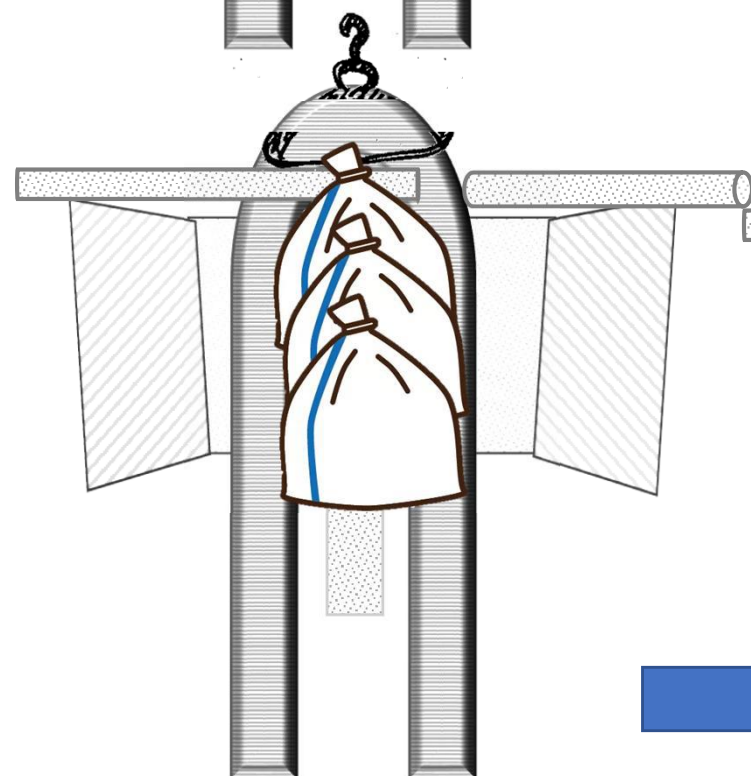
を用意します。



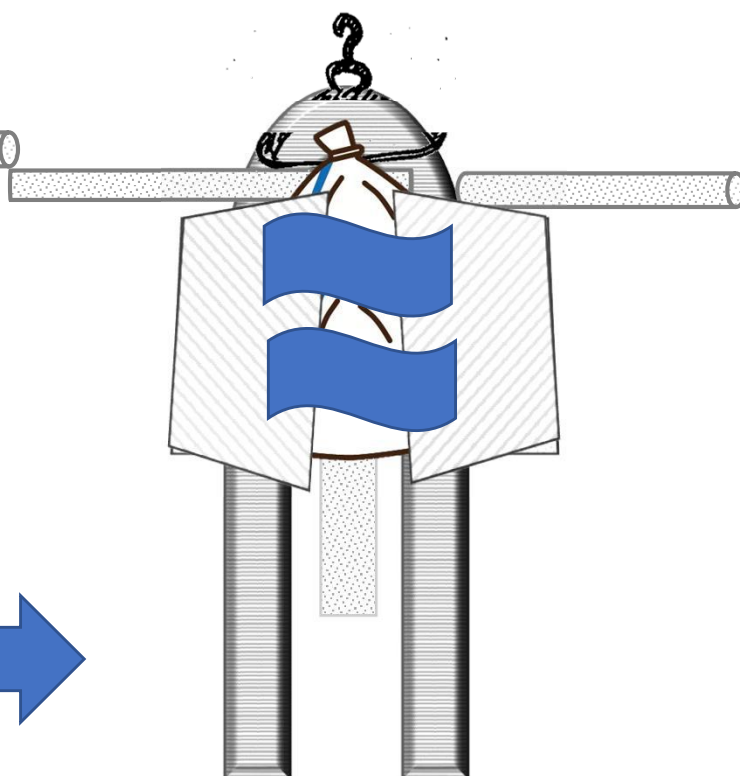
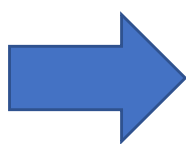
ハンガーのネック部分が上肢・体幹・下肢の空間部分(○囲み部)を通るようにセットする。



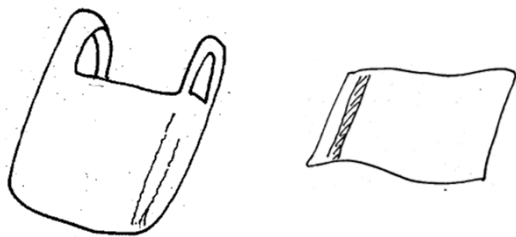
セットしたものを脊柱、胸郭に乗せ、脊柱の飛び出した部分がハンガーに引っかかるよう○囲み部奥から手前に引き出すように通す。



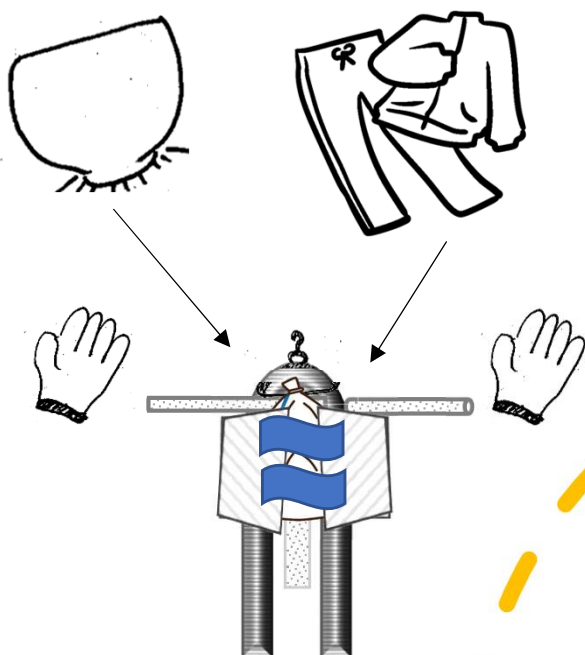
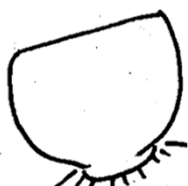
セットしたもののの上に、土嚢を載せ、重さを追加していく。土嚢をのせおえたら、胸郭を閉じ、テープで閉じる。



(4)顔、洋服、手をつける



大判バスタオル1枚と
ビニール袋を用意して、
バスタオルを球状にまとめ
て袋に詰め、口を縛る。



体幹部上部のハンガーに袋
とタオルで作った顔を括り
付け、用意した服を着せ、
軍手を付ける。
お好みで靴下や靴を履かせ
る。



完成

